

環るデザイン

Design for Sustainable Future

2022.10.14 Fri - 11.3 Thu

Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
EVENT GUIDE

環るデザイン

Design for Sustainable Future



Tokyo Midtown
DESIGN TOUCH
EVENT GUIDE

2022.10.14 Fri - 11.3 Thu

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH

東京ミッドタウン デザインタッチとは

「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトに、2007年から開催しているデザインの祭典。国内外の第一線で活躍するデザイナーや注目のデザインが、東京ミッドタウンに集まります。デザインの魅力や可能性を誰もが身近に体感できるイベントです。

めぐ 環るデザイン

Design for Sustainable Future

人々の生活が大きく変化し
新しい価値観が次々と生まれている今

本当に大切にしたいものを
この先も残していくためには
何ができるのだろうか

Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2022では
持続可能な未来へのヒントを
デザインを通して探っていきます

EVENT WEBSITE

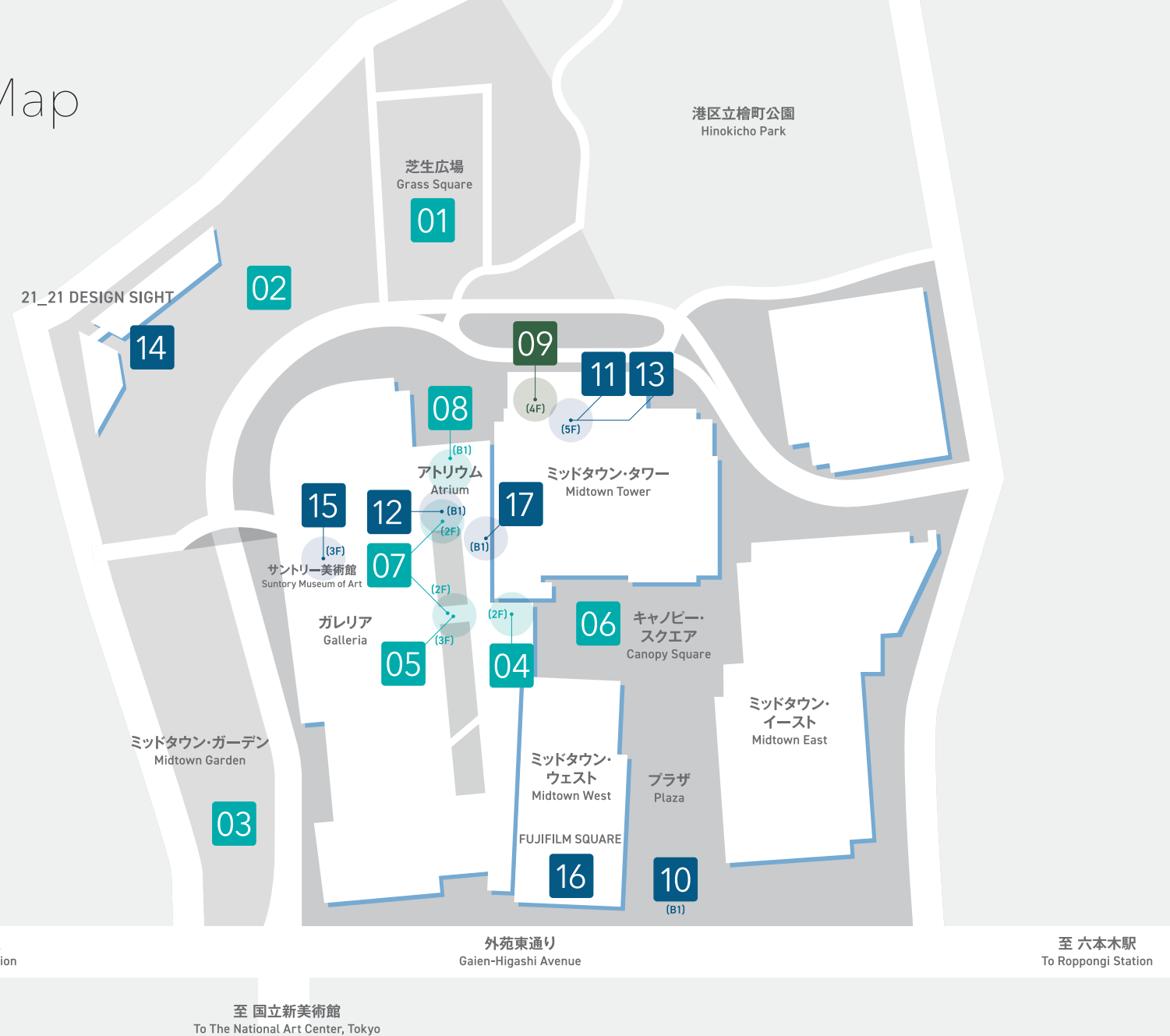


日本語



ENGLISH

Event Map



Contents

INSTALLATION

- 01 うみのハンモック
Sea hammock P.06
- 02 F.A.R.M. -Future Agricultural Rights for Mankind-
ファーム P.10
- 03 as it is. -equilibrium flower-
アズ イット イズ P.12
- 04 Life Beat
ライフ ビート P.14

- 05 Salone in Roppongi
サローネ イン ロッポンギ P.14
- 06 NEWGAMES
ニューゲームズ P.15
- 07 DESIGNART TOKYO 2022
デザインアートトーキョー 2022 P.16
- 08 PLAY SPACE.
ソニーによる“宇宙の視点”体験空間、プレイスペース P.17

CONFERENCE

- 09 DESIGN TOUCH Conference
デザインタッチ カンファレンス P.18

EXHIBITIONS

- 10 TOKYO MIDTOWN AWARD 2022
受賞作品発表・展示 P.20
- 11 GOOD DESIGN EXHIBITION 2022
2022年度グッドデザイン賞受賞展 P.22
- 12 GOOD DESIGN STORE TOKYO
by NOHARA POPUP STORE
グッドデザインストアトウキョウ バイ ノハラポップアップストア P.23
- 13 TUB 第20回企画展「デザイン人類学宣言！」
TUB 20th Exhibition: Design Anthropology NOW! P.23

- 14 クリストとジャンヌ＝クロード “包まれた凱旋門”
Christo and Jeanne-Claude “L'Arc de Triomphe, Wrapped” P.24
- 15 美をつくり—大阪市立美術館コレクション
Miwotsukushi: Beauty Galore
—A Guide to the Osaka City Museum of Fine Arts Collection P.24
- 16 人間写真機・須田一政 作品展「日本の風景・余白の街で」
The Camera on Two Legs
Suda Issei: Landscapes of Japan, Margins of the City P.25
- 17 とらや 第46回企画展「お米と和菓子」
Toraya 46th Exhibition: Rice and Wagashi P.25

お客様へのお願い

- マスクの着用、咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 発熱や咳、咽頭痛などの症状がある方については、ご来街をお控えください。
- 芝生内のペットの立ち入りはご遠慮ください。
- イベントの実施内容は予告なく変更・中止になる可能性があります。

We would like to request your cooperation with the following

- Please wear a mask during your visit, and observe cough etiquette.
- If you have a fever, cough, throat pain or headache, please refrain from visiting.
- Pets are not allowed in the garden.
- Events are subject to change or cancellation at any time without notice.

1975年生まれ。昭和女子大学生活美学科卒業。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「丘のある家」「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」。主な受賞歴にJIA新人賞(2014)、東京建築賞優秀賞(2018)、照明学会照明デザイン賞最優秀賞(2021)。現在、「東急歌舞伎町タワー」(2023予定)ほか複数の計画が進行中。



クリエイター

建築家
永山祐子
Yuko Nagayama

遠くから眺めると大小の波が広がる約36m×12mの巨大なインスタレーションが、芝生広場に登場します。海の波のように見えるのは連なるハンモックとタープ。自由に休んだり、遊んだりすることができます。ハンモックとタープの素材は、廃棄された漁網をアップサイクルした糸です。海洋汚染や生態系へ影響が問題となっている海洋ゴミを、循環のデザインにのせることで、“めぐる”モノとして人々につなげる試みです。展示が終わると素材は再利用され、さまざまなモノに再び生まれ変わります。ハンモックに揺られたり、タープの下で過ごしながら私たちの生活をとりにく自然環境に思いを巡らせてみてください。

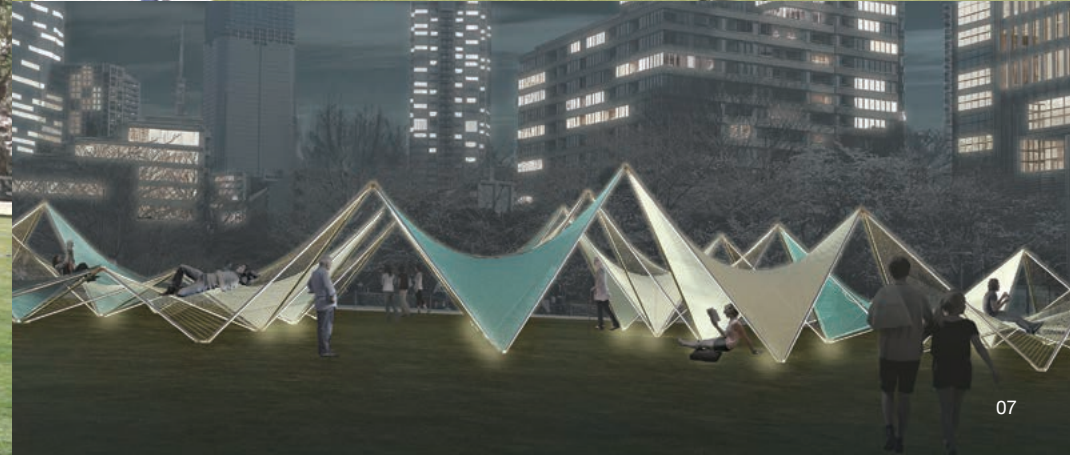
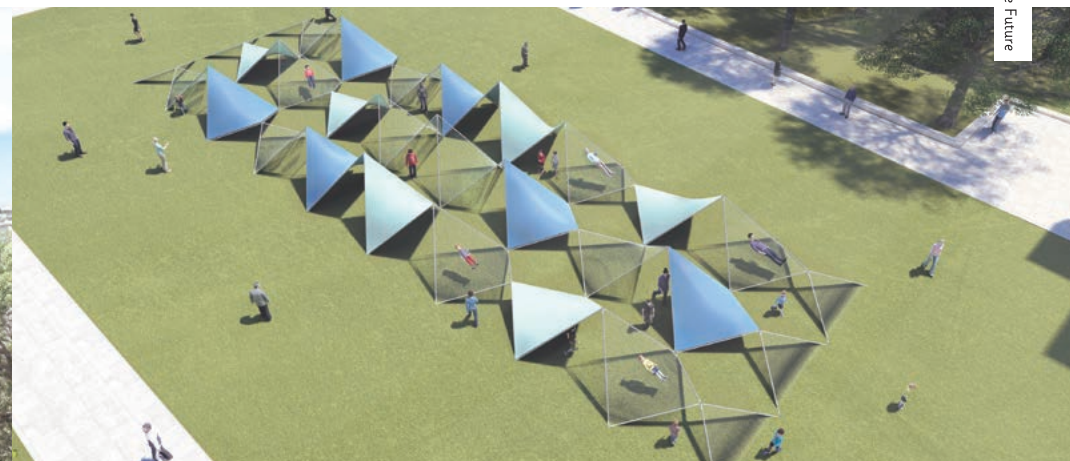
01 うみのハンモック

Sea hammock

🎫10/14 Fri-11/3 Thu 🕒11:00-21:00 📍芝生広場 ※荒天中止

料金 無料 主催 東京ミッドタウン

作品協力 株式会社リファインバースグループ、日本製網工業組合、橋本産業株式会社、モリトアパレル株式会社、兵庫県鞆工業組合、大光電機株式会社



うみのハンモック Column
Sea hammock

「うみのハンモック」は海洋ゴミが、モノの循環のなかで形をかえながら私たちの生活へと戻ってくるめぐる物語の通過点です。

「素材が環るデザイン」を体験する



1

海洋ゴミ問題

2050年には魚の数を上回るとさえいわれている海洋ゴミ。世界中に漂流するプラスチックの量は1.5万トン余りともいわれ、なかでも漁具の糸は自然分解されにくい海洋ゴミのひとつです。

2
ペレット素材

日本で使われる漁網素材の約20%がナイロンです。役目を終え廃棄される漁網を回収し、アップサイクルしやすいペレット状の「ナイロン樹脂」にします。



今はここ!

3

3
インスタレーション
「うみのハンモック」



主に自動車や家電などに使われている「再生ナイロン」で、今回は繊維を作ります。300本の糸を撚り、人が乗れるほど丈夫なハンモックに。

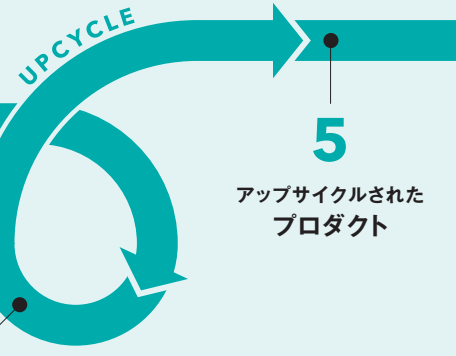
4
ペレット素材

インスタレーションの展示終了後、ハンモックとタープは回収され再びペレット状に。そして、形を変えて新しいプロダクトとして私たちの生活へ戻ってきます。



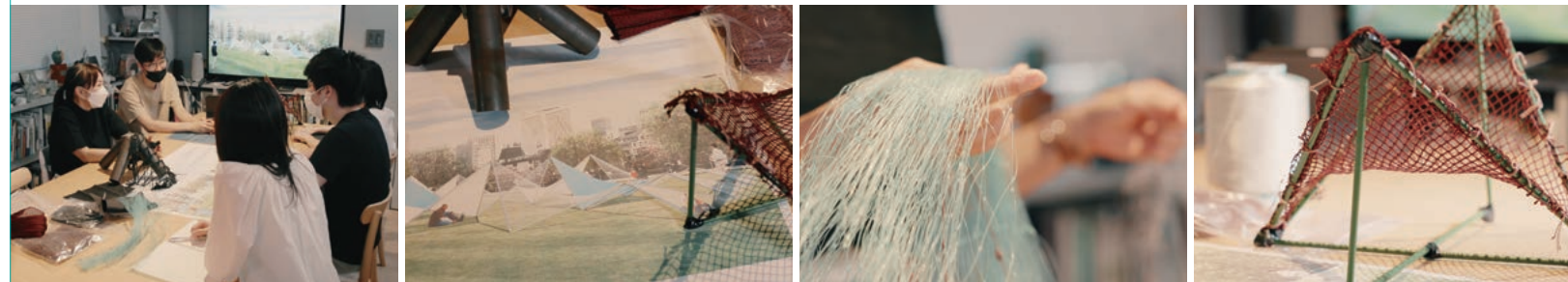
5

5
アップサイクルされた
プロダクト



写真提供：株式会社リファインバースグループ

Interview



“ 地球環境を考えると私たちの楽しさや喜びをつなげる。そこにデザインの役割がある ”

海に囲まれた日本にとって、海洋ゴミは他の国に比べて大きな問題です。そこで今回は「漁網」にフォーカスしました。いまやサステナブルについては必ず考えるべき項目ですが、地球環境を考えると同時に、何か私たちの生活にとって楽しいものであってほしい。そこにデザインの役割があると思っています。遊びながら気づいてほしいという思いから、漁網をアップサイクルしてハンモックという遊具を作りました。実際に素材を触ってもらったり、乗ってもらったりしながら、体験することで何かが染み込んでいくような、社会問題そのものを体感できるような形にしたいと考えま

した。全体としては海の波のようなイメージで作りました。漁網をアップサイクルした再生素材の繊維を、建築物によく使われるHPシェル構造で、人が乗れる安定した形状にして並べています。建築において環境との融合は常に考えることですが、とくに仮設建築は短期間で壊されてしまうので、その後どう使われるのか、廃棄するとしてもどんなふうに捨てるのか、その先のストーリーを意識します。今回は糸や繊維にしたハンモックを、布地などにしてもう一度世の中に戻していく。「うみのハンモック」を通じて、モノがめぐる物語を表せたいと思っています。

インタビューのフルバージョンはこちらでご覧いただけます



トークセッションもあります
「DESIGN TOUCH Conference」 → P.18

02

F.A.R.M. -Future Agricultural Rights for Mankind-

ファーム

📅 10/14 Fri - 11/3 Thu ⌚ 11:00 - 21:00 📍 ミッドタウン・ガーデン ※ 荒天中止

料金 無料 主催 東京ミッドタウン

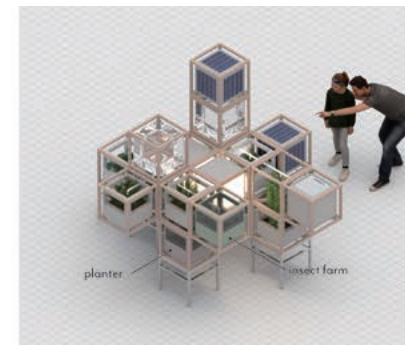
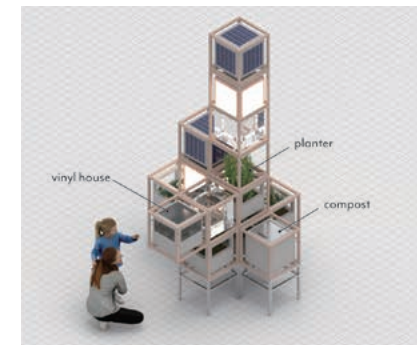
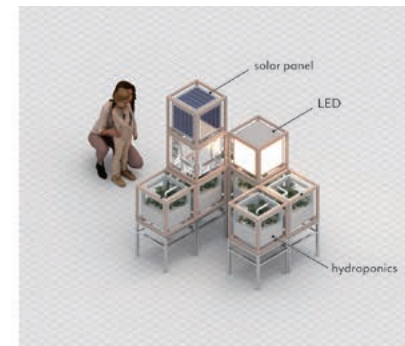
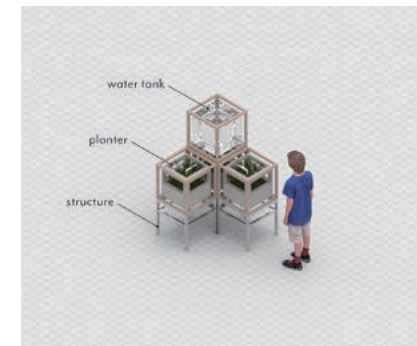
コラボレーター 高橋祐亮 (デザイナー)

制作協力 新渡戸文化高等学校、城北埼玉高等学校、太陽グリーンエナジー株式会社、昭和女子大学環境デザイン学科・オオニシ研究室

制作協賛 ようび、株式会社3D Printing Corporation、株式会社フロムトゥ



ミッドタウン・ガーデンに、農業をめぐる実験的インスタレーションが登場します。農業は太陽エネルギー、炭素、窒素、酵素などの循環をコントロールし、私たちの生命をつなぐ作物へと変換するプロセスです。そんな農業に必要とされるさまざまな要素を分解し、栽培基盤やエネルギーなどをユニット化して、ブロック的に組み合わせ、積み上げていくことで、農業という循環系システムを簡単に構築できるようデザインしました。農園が立体展開するような都市型農業の可能性を切り拓き、それぞれの人の手へ農業という営みを届けていく、新しい農業の形を提案します。



30cm×30cmの亚克力キューブを木製フレームで囲ったユニットは、土壌栽培ユニット、水耕栽培ユニット、アクアポニックス、ソーラーパネル&LEDユニットなど、農業に必要な要素が揃う。環境に合わせて組み合わせをデザインできる。

クリエイター

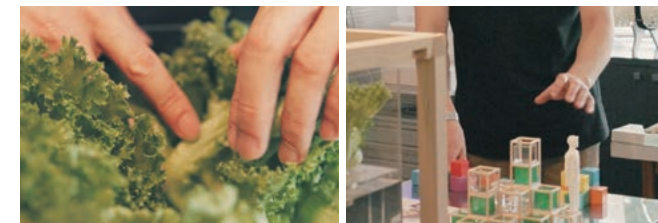


©SHOKO HIRAKAWA

建築家集団/デザインユニット
ENERGY MEET
エナジーミート

蘆田暢人(右)、オオニシ・タクヤ(左)、Alvaro Contiの3人の建築家が2010年に立ち上げたデザインユニット。デザインを通してエネルギーと社会をつなげることをテーマに、日本とタイを中心に活動。自然エネルギーを活用した建築やまちづくりからインスタレーション、「ENERGY MEET MAGAZINE」の発行など活動は多岐にわたる。

Interview “ ヒューマンレベルから
都市スケールまで拡張していける
自由な農業モデルを ”



建築を設計する際、電気や水道は当たり前のように引き込んでいて、エネルギーがどうやって作られ、どこから来たのかということが思考から抜け落ちることにずっと違和感がありました。エネルギーを考えていくなかで「循環」は常に頭にあるキーワードでした。それが今回「農業」と結びつきました。僕は、今後深刻になっていく世界的な食糧危機という問題に対して、作物を作ろう!というポジティブな仕組みをデザインしたい。この農業ユニットはベランダで家庭菜園としても、垂直に組み上げてビルファサードとしても成立する拡張性の高いものと考えています。「F.A.R.M.」は、自由な農業をデザインできる可能性を秘めています。

📺
インタビューの
フルバージョンは
こちらで
ご覧いただけます



トークセッションもあります
[DESIGN TOUCH Conference]

→ P.18

03

as it is. -equilibrium flower-

アズ イット イズ

📅 10/14 Fri - 11/3 Thu 🕒 11:00 - 21:00 📍 ミッドタウン・ガーデン ※雨天中止

料金 無料 主催 東京ミッドタウン



ミッドタウン・ガーデン内に約2,000個の花のようなオブジェが登場します。敷地内の植物で草花染めされた特殊な繊維で作られたオブジェが、周囲の環境と共鳴しながら咲き誇る姿を体感できるインスタレーションです。独自に開発した「熱で硬くなる生地」を使い、部分的に熱をかけることで、硬くて柔らかい不思議な表情が生まれます。生み出されたものは「人工物」ですが、その土地と結びつく「何か」を獲得することで、その環境とつながり「環るデザイン」へと変わっていきます。



緑の芝生に咲いた花のようなオブジェ。暗くなると、ひとつひとつに淡い光が点灯します。

Workshop 六本木未来会議アイデア実現プロジェクト

対話する様につくる

📅 10/23 Sun
🕒 13:30 - 15:00
📍 ミッドタウン・ガーデン
※雨天の場合はプラザB1

料金 無料・事前申込制 定員 20名
申込方法 Peatixより事前申込制
講師 吉泉 聡 (TAKT PROJECT代表)
主催 六本木未来会議



も
の
学校

クリエイターが先生になる特別授業「森の学校」青空教室。熱で硬くなる特別な生地を使って花のオブジェ「equilibrium flower」を作り、東京ミッドタウンの草花で染色。自分だけの特別なオブジェを作ります。



事前申込

クリエイター

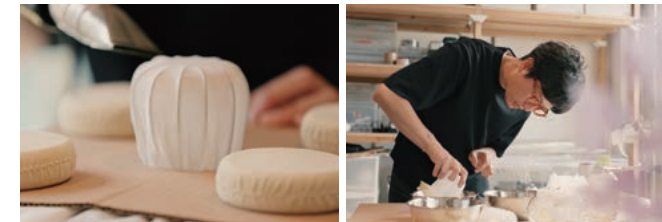


TAKT PROJECT

デザインスタジオ
TAKT PROJECT
(代表:吉泉 聡)
タクトプロジェクト

デザインによる新しい概念の創出と具現化を行うDESIGN THINK + DO TANK。広く世界を俯瞰し、静かに自己の声にも耳を澄まし、手を動かし感じながらつくことで、ロジカルな思考だけでは到達できない仮説を構想する「新しい知性」としてのデザインを志向。幅広いクライアントと共に、次代の概念を耕す多様なプロジェクトに日々取り組む。

Interview “土地から離れた人工物をもう一度、土地に接続していく”



「環る」を考えると、自然素材を循環させることも大切ですが、人間、とくにデザイナーが関わる人が多い工業的な素材で、どう考えていけるかがすごく大切だと思っています。工業的な素材は土地から離れることで世界に流通していくものですが、もう一度、土地と接続している「何か」を与えることで、違う感覚や意味を持ってくのではないかと思います。ミッドタウンは緑が多い。それはすごく予定調和ではなく、いろんな振る舞いがある場に起きているということ。強いデザインではなく、あえて弱い、儚い、むしろ周りの環境に影響を受けてしまう人工物があっていいのではないかと考えました。

インタビューのフルバージョンはこちらでご覧いただけます



トークセッションもあります
[DESIGN TOUCH Conference]

→P.18

04 Life Beat

ライフ ビート

📅10/14 Fri-11/3 Thu 🕒11:00-20:00

📍ガレリア2F lucien pella-finet横

料金 無料 主催 東京ミッドタウン



TOKYO MIDTOWN AWARD 2020 デザインコンペ グランプリ受賞者をはじめ、分野の異なる5人が集うクリエイター集団によるインスタレーションです。哺乳類の心臓は、どの動物も一生の間に約20億回脈を打ちます。人間に比べると、小さな生きものほど脈は速く、大きいほど遅くなります。そんな動物ごとの心拍のリズムでライトを明滅。テーブル全体が大きな光の集合体となり、それらが同一方向へ歩く様子から、ひとつの種が存在するだけでは生命の循環が不可能なこと、人間単体ではなく多様な生物の関わり合いによって生命が続いていくことを伝えます。

クリエイター

クリエイター集団
CORNER
コーナー

アーティスト、デザイナー、テクノロジストからなる、創造の可能性を広げることを目的としたクリエイター集団。各々の分野を起点に、専門性にとらわれないアート制作を実験的に行う。TOKYO MIDTOWN AWARD 2020 デザインコンペ グランプリ(若田・金澤)ほかデザイン賞を多数受賞。



若田勇輔 Yusuke Wakata
金澤佐和子 Sawako Kanazawa
岩崎有紗 Arisa Iwazaki
田羅義史 Yoshifumi Tara
長屋弘 Hiroshi Nagaya

トークセッションもあります
[DESIGN TOUCH
Conference]

→ P.18

05

Salone
in Roppongi

サローネ イン ロッポンギ

📅10/14 Fri-11/3 Thu

🕒11:00-20:00

📍ガレリア3F

IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC前

料金 無料

主催 Salone in Roppongi 実行委員会

協力 東京ミッドタウン

2013年よりミラノサローネなど海外で活躍する建築家やデザイナーなどクリエイターに焦点をあて、インスタレーションを中心に展示を行ってきたSalone in Roppongiが、3年ぶりに展示を開催します。今回はデザインスタジオYOYをフィーチャリング・アーティストに迎え、「水」をテーマに制作した新作プロダクトの展示を行います。

クリエイター

デザインスタジオ
YOY
ヨイ

小野直紀と山本侑樹によるデザインスタジオ。2011年に設立し、東京を拠点に国内外で活動。「空間とモノの間」をテーマに家具や照明、インテリアなどのデザインを行う。その作品はMoMAはじめ世界中で販売され、国内外で多くの賞を受賞している。2015年より武蔵野美術大学 非常勤講師/特別講師。



Salone in Roppongiとは?

世界中の人々を魅了するデザインイベント「ミラノサローネ」で活躍する日本人デザイナーや日本企業の作品を紹介。デザイン&アートの街六本木で、世界で高く評価されている「日本のデザイン」を体験してもらうプロジェクトです。

06

NEWGAMES

ニューゲームズ

📅10/26 Wed-11/3 Thu 🕒11:00-21:00

📍キャノピー・スクエア ※荒天中止

料金 無料 主催 東京ミッドタウン

新しいルールで、新しい遊びを。不規則な自然現象をモチーフとした3Dプリントプロダクトを展示します。周辺環境になじむランダムな形状のプロダクトは、使う人によって機能が変化します。さまざまなルールがありながら、誰もが自らプロダクトをデザインし、能動的に楽しんでしまう、まるでゲームのような使い続けたい体験を設計します。そのプロセスの円環の先にある、ただのモノの再利用だけではない“持続可能な未来”を考えます。

クリエイター

NOD

建築ディレクター
溝端友輔 (NOD)
Yusuke Mizobata

1993年和歌山県生まれ。2019年に株式会社NODを創業し、商業施設や宿泊施設などを中心に企画から設計、運営まで手がける。2022年よりDIGITALCRAFT事業部を創設。3Dプリント技術を活用した建築、インテリアの設計などを行っている。

07 DESIGNART TOKYO 2022

デザイナートーキョー 2022

10/14 Fri - 11/3 Thu

11:00 - 20:00

料金 無料

主催 デザイナートーキョー実行委員会

協力 東京ミッドタウン

東京を舞台に、世界中からインテリア、アート、ファッション、テクノロジー、フードなど多彩なジャンルをリードする才能が集結し、都内各所で展示を行うDESIGNART TOKYO。東京ミッドタウンでは「環るデザイン」をキーワードに、2組のクリエイターが制作した作品を展示します。



トークセッションも
あります
[DESIGN TOUCH
Conference]
→P.18

series 「sea」

◎ギャラリー2F Aēsop前

STUDIO RELIGHTの母体である株式会社サワヤで適正処理された廃蛍光灯リサイクルガラスを用いた作品群。リサイクルガラス特有の「色」や「気泡」を活かすために鑄造による塊形状をベースにガラスを成形しました。一部の作品は鑄造の型に砂型を使用。独特の表情を与えつつ、型自体もリサイクル可能なものとしています。それぞれの作品ごとにシリーズタイトルである「sea」のさまざまなシーンを切り取り、表現することを試んでいます。



クリエイター

デザインユニット
ambi & STUDIO RELIGHT
アンビ&スタジオリライト



小池峻と小林昌平によるデザインユニットambiと、金沢のガラス工房STUDIO RELIGHTのコラボレーション。ambiは世の中の様々な“現象”に着眼し活動。STUDIO RELIGHTは廃蛍光灯リサイクルガラスを主な原料に製作する。

“ FLOW ”

◎ギャラリー2F Lucien pellat-finet前

多くの使用可能な建築資材が廃棄され、新しい資材で空間をつくり続ける“スクラップアンドビルド”への問いから、資材の中で最も多く廃棄されるマテリアルの一つである内装下地材LGS（軽量鉄骨）に着目。マテリアル純度を高く保つ素材の活用と構法で空間を組み立て、解体後に再び家具へと再構築。資材を廃棄しない流動するマテリアルを生み出すプロジェクトに挑戦しています。そのプロセスから生まれたプロダクトが“FLOW”です。

クリエイター

インテリアデザイナー
山本大介
Daisuke Yamamoto



国内外でインテリア・建築を軸に家具・プロダクトなど多岐にわたるデザイン、パブリック空間のショーセットなどを手がけている。武蔵野美術大学建築学科/空間演出デザイン学科非常勤講師。



©Masayuki Hayashi

08

ソニーによる “宇宙の視点”体験空間 PLAY SPACE.

プレイスペース

10/14 Fri - 11/3 Thu

11:00 - 21:00 ※ステージは日によって異なります

◎アトリウム

料金 無料 ※Space Shooting Labは予約制

主催 ソニーグループ株式会社



- 地球が美しいから、感動を生み出せる -

SonyがJAXA、東京大学と共同で進めている「STAR SPHERE - space inspiration project -」により、この冬、打上げを予定しているカメラを搭載した超小型人工衛星は、宇宙の視点でクリエイターに新たな創作の可能性をもたらします。その衛星を使って宇宙から地球を撮影するシミュレーション体験“Space Shooting Lab”をはじめ、“宇宙の視点”にインスパイアされたクリエイターやアーティストを招いてのステージイベント、音楽、メタヴァース、アート作品など、さまざまな宇宙コンテンツのプロトタイプを体験できるインタラクティブな参加型の空間です。宇宙の視点でどんな楽しいことを創造できるのか、「PLAY SPACE.」を環って、未来を想像し、自分だけの“宇宙の遊び方”を発見してみませんか？



PLAY SPACE.の詳細はこちら

09 DESIGN TOUCH Conference

デザインタッチ カンファレンス

10/28 Fri-10/30 Sun

ミッドタウン・タワー4F カンファレンス

料金 無料・事前申込制 主催 東京ミッドタウン 協力 東京ミッドタウン・デザイン部



芝生広場でのインスタレーションを手がける永山祐子らデザインタッチ参加クリエイターをはじめ、各分野で活躍するデザイナーや企業が参加して、「デザイン」を軸にさまざまなテーマで講演やトークセッションを行います。各分野の第一線で活躍するクリエイターたちの生の声に触れられる貴重な機会。事前申込のうえご参加ください。

参加方法

ご予約はこちら



10/28 Fri		10/29 Sat		10/30 Sun	
Room 3 & 4	Room 9	Room 3 & 4	Room 9	Room 3 & 4	Room 9
<p>12:30-13:30</p> <p>持続可能な社会を創るために 企業と国連ができること -UNHCRとユニクロが取り組む 難民支援活動の軌跡-</p> <p>Speaker</p> <p>ファーストリテイリング シェルバ英子 UNHCR駐日事務所 ナッケン鯉都</p>	<p>12:30-13:30</p> <p>持続可能なカカオづくりを 目指し、カカオ産地と創る システムデザイン</p> <p>Speaker</p> <p>明治 日吉良平 明治 藤本沙織</p>	<p>12:30-13:30</p> <p>「iF DESIGN AWARD」 最優秀受賞の社会起業家が 見た、無意識に社会課題に 加担する商業デザインを 生む潮流とは?</p> <p>Speaker</p> <p>SOLIT 田中美咲</p>			<p>12:00-13:30</p> <p>トーク&ワークショップ 「つくる・つかう・するの デザイン」</p> <p>Speaker</p> <p>IDEO Tokyo アメリア・ジュール IDEO Tokyo 田仲 薫 ナカダイ 中台澄之</p>
<p>14:30-15:30</p> <p>北海道ボールパーク Fビレッジとは? ~共同創造する新しいまちづくりと デザイン~</p> <p>Speaker</p> <p>ファイターズ スポーツ&エンターテイメント 酒井恭佑 電通 榎 良祐</p>	<p>14:30-15:30</p> <p>都市型サーキュラーの 現在</p> <p>Speaker</p> <p>ペーパー/レド 守田篤史 KESIKI 石川俊祐</p>	<p>14:30-15:30</p> <p>プロデューサーとしての デザイナーとの 仕事の作り方</p> <p>Speaker</p> <p>星野リゾート 桐山幹浩</p>	<p>14:30-15:30</p> <p>ambi & STUDIO RELIGHT ~series「sea」作品背景について~</p> <p>Speaker</p> <p>ambi 小池 峻、小林昌平 STUDIO RELIGHT 廣田 直</p> <p>INSTALLATION → P.16</p>	<p>14:30-15:30</p> <p>日常に隠れた「めぐる」を 体感するワークショップ</p> <p>Speaker</p> <p>デザイナー 若田勇輔 東京藝術大学 田羅義史 ストラテジックプランナー 長屋 弘</p> <p>INSTALLATION → P.14</p>	<p>14:30-15:30</p> <p>エネルギーと農業、 そしてデザイン</p> <p>Speaker</p> <p>©SHOKO HIRAOKA ENERGY MEET オオニシ・タクヤ、蘆田暢人</p> <p>INSTALLATION → P.10</p>
<p>16:30-18:00</p> <p>海を中心に 「環るデザイン」</p> <p>Speaker</p> <p>建築家 永山祐子 リファインバース 松崎康洋 アーティスト 藤元 明</p> <p>INSTALLATION → P.06</p>	<p>16:30-17:30</p> <p>めぐるデザイン -文化人類学×デザインの視点から、 いま大切にすること、行動すること-</p> <p>Speaker</p> <p>多摩美術大学 永井一史 多摩美術大学 濱田芳治 多摩美術大学 中村 寛</p>	<p>16:30-17:30</p> <p>自然と対話する様に つくる</p> <p>Speaker</p> <p>TAKT PROJECT 吉泉 聡</p> <p>INSTALLATION → P.12</p>	<p>16:30-17:30</p> <p>オルタナティブな マテリアルサイクルから 広がる世界</p> <p>Speaker</p> <p>山本大介デザイン事務所 山本大介 WE+ 安藤北斗</p> <p>INSTALLATION → P.16</p>		

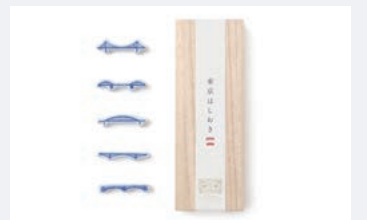
過去のデザインコンペ受賞作から
商品化された作品の一部を
ご紹介します



富士山グラス
デザイナー 鈴木啓太(2008年 受賞)
販売店舗 中川政七商店街(ガレリアB1)



hadawa
デザイナー CAMOTES(若田勇輔・金澤佐和子)
(2020年 受賞)
販売店舗 中川政七商店街(ガレリアB1)



東京はしおき
デザイナー 本山拓人・不破健男(2017年 受賞)
販売店舗 中川政七商店街(ガレリアB1)

今年の
DESIGN TOUCHでは
「環るデザイン」をテーマに
新作「Life Beat」を発表
→P.14

受賞作品発表 Announcement of Awards

10/13 Thu
16:00-17:00
TOKYO MIDTOWN AWARD
公式Twitterからライブ配信
※審査結果は公式WEBサイトでも発表します。



※昨年の授賞式の様子

10月13日(木)には授賞式の様子を公式Twitterよりライブ配信。審査員による熱い議論を重ねた末の審査結果、総評コメントを臨場感とともに楽しみください。

受賞作品展示 Exhibition of Award-winning Works

10/13 Thu-11/6 Sun
プラザB1 メトロアベニュー

11月6日(日)まで、全受賞作品を展示します。迫力あるアート作品、アイデアにあふれたデザインの数々を、クリエイターのメッセージとともに楽しみください。



オーディエンス賞

会場およびオンラインから、どなたでも参加できる人気投票「オーディエンス賞」。受賞・入賞作品のなかから、気に入った作品に一票投じてみませんか?



※昨年の展示の様子

10 TOKYO MIDTOWN AWARD 2022

受賞作品発表・展示

料金 無料 主催 東京ミッドタウン

次世代を担うクリエイターを発掘・応援するTOKYO MIDTOWN AWARDも今年で15回目。計1,481点の応募作品のなかから選ばれた、デザイン・アートコンペの本年度全受賞作品を発表・展示します。

TOKYO MIDTOWN AWARD 公式WEBサイト
<https://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>



公式WEBサイト



デザインコンペ 審査員



石上純也
Junya Ishigami
建築家



伊藤直樹
Naoki Ito
クリエイティブディレクター/
アーティスト/起業家



えぐちりか
Rika Eguchi
アーティスト/アートディレクター



川村元気
Genki Kawamura
小説家/フィルムメーカー



中村勇吾
Yugo Nakamura
インターフェースデザイナー

アートコンペ 審査員



大巻伸嗣
Shinji Ohmaki
アーティスト



金島隆弘
Takahiro Kaneshima
アートプロデューサー/
京都芸術大学客員教授



クワクボリョウタ
Ryota Kuwakubo
アーティスト/情報科学芸術大学院
大学 IIMAS 教授/
多摩美術大学情報デザイン学科
非常勤講師



永山祐子
Yuko Nagayama
建築家



林 寿美
Sumi Hayashi
インディペンデント・キュレーター/
成安造形大学客員教授

11 Tokyo Midtown
DESIGN
HUB

GOOD DESIGN EXHIBITION 2022

2022年度グッドデザイン賞受賞展

📅10/7 Fri-11/6 Sun

🕒11:00-19:00 [10/7は16:00から開催]

📍東京ミッドタウン・デザインハブ
[ミッドタウン・タワー5F]

※混雑状況により入場制限の可能性あり

料金 無料

主催 東京ミッドタウン・デザインハブ

企画・運営 公益財団法人日本デザイン振興会



2022年度グッドデザイン賞の「ベスト100」の展示を中心に、今年の全受賞作品を発表します。会場内では、グッドデザイン大賞の候補である「ファイナリスト」も展示され、10月31日(月)までは、来場者もグッドデザイン大賞を決める投票に参加できます。来場先着1,000名さまには、特典として限定ステッカーもプレゼント。今年の「グッドデザイン」を見て、触って、体験しながら楽しめる展覧会です。

GOOD DESIGN AWARDとは？

1957年に設立された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨を行うアワード。社会を豊かにし、暮らしの質を高めるデザインをさまざまな分野から見出して、広く伝えることを目的としています。



12

GOOD DESIGN STORE
TOKYO

by NOHARA POPUP STORE

グッドデザインストアトウキョウ バイ ノハラポップアップストア

📅10/14 Fri-11/3 Thu 🕒11:00-21:00 📍ガレリアB1



※イメージ

グッドデザイン賞が考える「よいデザイン」に囲まれた暮らしを提案するショップが期間限定で登場します。目に留まり心惹かれた商品を実際に手に取り、暮らしに取り入れることができる、出会いの場です。あなたの暮らしを心地よくデザインする一品を、見つけてください。

GOOD DESIGN
STORE
TOKYO
by NOHARA

13 TUB

TUB 第20回企画展
「デザイン人類学宣言！」

TUB 20th Exhibition: Design Anthropology NOW!

📅10/26 Wed-11/6 Sun

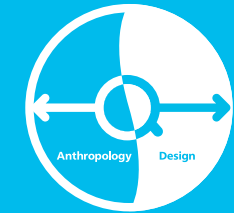
🕒11:00-18:00

📍多摩美術大学 TUB [ミッドタウン・タワー5F デザインハブ内]

デザイン人類学宣言！
Design Anthropology Now!

人の生活様式・習慣・考え方を研究し、世界認識の枠組みや前提を揺さぶる人類学。現在の課題と可能性を洞察し、具体的に暮らしや社会に備わって変化を起こすデザイン。2つの異なる分野が切り結び、協業し、混濁して生まれるのがデザイン人類学です。デザイン人類学の持つパースペクティブと可能性を提示したいと思います。

Anthropology investigates lifestyles, languages, customs, ways of thinking, and other aspects of human, and unsettles the epistemological frameworks and assumptions of/toward the world. Design practices gain insights by examining the contemporary issues and possible solutions, and create changes by engaging with people's lives and society. Design anthropology as an emerging effort is a product of the two different fields clashing, collaborating, and merging with each other. This exhibition presents the perspectives and potential of design anthropology.



“まじわる・うみだす・ひらく”をコンセプトに開設された多摩美術大学のクリエイションの場、TUB(タブ)。今年は「デザイン人類学」をテーマに、デザインと人類学との関係を見つめ直し、共創の可能性を探ります。デザイン人類学とは、どのような知の実践なのか、どんな歴史・社会・経済的文脈のなかに生成し課題に向き合うのか。そしてそれは、デザインを、人類学を、どう変化させようのでしょうか？ 会期中には、人類学者やデザイナー、研究者によるトークイベントも開催予定です。

料金 無料 主催 多摩美術大学 TUB

14 **21_21**

クリストとジャンヌ＝クロード “包まれた凱旋門”

Christo and Jeanne-Claude “L’Arc de Triomphe, Wrapped”

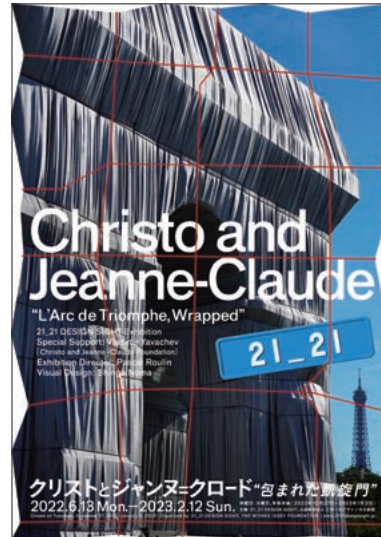
📅6/13 Mon - 2023/2/12 Sun

🕒10:00 - 19:00

📍21_21 DESIGN SIGHT

※火曜日、年末年始(12/27 - 1/3)休館
※入場は閉館の30分前まで

現代美術作家クリストとジャンヌ＝クロードの活動の根源と広がりにも焦点をあてた展覧会です。二人の悲願の夢であり、2021年9月にパリで実現したプロジェクト「L’Arc de Triomphe, Wrapped, Paris, 1961-2021 (包まれた凱旋門)」の背景や制作過程を紹介することで、夢の実現に向けた二人の喜びをもたらす創造の大きな力に目を向けます。アートやデザインのみならず、日常におけるさまざまなチャレンジにも勇気を与えてくれるでしょう。



入場料 一般1,200円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料
ギャラリー3は入場無料

主催 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

後援 文化庁、港区教育委員会、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

特別協賛 三井不動産株式会社 協賛 株式会社イッセイミヤケ

特別協力 クリスト・アンド・ジャンヌ＝クロード財団、柳 正彦

15 **ム**
サントリー美術館
SUNTORY MUSEUM OF ART

美をつくし —大阪市立美術館コレクション

Miwotsukushi: Beauty Galore
—A Guide to the Osaka City Museum of Fine Arts Collection

📅9/14 Wed - 11/13 Sun

🕒10:00 - 18:00 [金・土および10/9、11/2は20:00まで開館]

📍サントリー美術館 [ガレリア3F]

※火曜日休館(11/8は18:00まで開館) ※入場は閉館の30分前まで
※作品保護のため、会期中展示替を行います。

大阪市立美術館は、東京・京都に次ぐ日本で三番目の公立美術館として、昭和11年(1936)に開館しました。長年にわたり築かれたコレクションは、日本・中国の絵画や書蹟、彫刻、工芸など8,500件を超え、時代も紀元前から近代まで実に多彩です。本展では、大阪市立美術館が大規模改修工事のために令和4年(2022)秋から休館するのを機に、同館でもそろって展示されることが減多にない名品を、館外で初めて一堂にご紹介します。

入場料 一般1,500円
大学・高校生1,000円
中学生以下無料

主催 サントリー美術館、毎日新聞社

協賛 三井不動産株式会社、サントリーホールディングス株式会社

企画協力 大阪市立美術館

16 **FUJIFILM SQUARE**

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館 企画写真展 人間写真機・須田一政 作品展 「日本の風景・余白の街で」

FUJIFILM SQUARE Photo History Museum Photo Exhibition
The Camera on Two Legs
Suda Issei: Landscapes of Japan, Margins of the City

📅9/29 Thu - 12/28 Wed

🕒10:00 - 19:00 [最終日は16:00まで]

📍FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館

※入館は終了10分前まで



(左)長野・軽井沢 1982年 / (右)静岡・三島 1984年 ©SUDA ISSEI Works

国際的に高く評価されている写真家須田一政の作品展。1986年に富士フォトサロンで開催された須田一政の写真展「日本の風景・余白の街で」から、約30点を新たに制作したカラープリントで展示します。

入場料 無料
主催 富士フィルム株式会社

17 **とらや**

とらや 第46回企画展 「お米と和菓子」

Toraya 46th Exhibition: Rice and Wagashi

📅9/2 Fri - 2023/1/11 Wed

🕒11:00 - 21:00

📍とらや [ガレリアB1]

※最新情報はとらや公式WEBサイトを参照



日々の主食として、日本の食卓に欠かせないお米。和菓子づくりにおいても大切な材料で、身近なおやつから茶席で用意される上生菓子まで、さまざまな形で使われています。本展では、和菓子に用いるお米に注目。見た目や食感の異なる何種類もの米粉は、うるち米・もち米からどのように生まれ、どう使用されるのでしょうか。その全体像を一望できるお米マップや、和菓子の製造動画などを通して、変幻自在なお米の魅力をお伝えします。

料金 無料 主催 株式会社 虎屋

Event Schedule

No.	CONTENTS	PLACE	10月 October							11月 November													
			14 Fri	15 Sat	16 Sun	17 Mon	18 Tue	19 Wed	20 Thu	21 Fri	22 Sat	23 Sun	24 Mon	25 Tue	26 Wed	27 Thu	28 Fri	29 Sat	30 Sun	31 Mon	1 Tue	2 Wed	3 Thu
01	うみのハンモック Sea hammock	芝生広場 Grass Square	[Event]																				
02	F.A.R.M. -Future Agricultural Rights for Mankind-	ミッドタウン・ガーデン Midtown Garden	[Event]																				
03	as it is. -equilibrium flower-	ミッドタウン・ガーデン Midtown Garden	[Event] ワークショップ																				
04	Life Beat	ギャラリー2F lucien pellat-finet横 Galleria 2F, beside lucien pellat-finet	[Event]																				
05	Salone in Roppongi	ギャラリー3F IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC 前 Galleria 3F, front of IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC	[Event]																				
06	NEWGAMES	キャンピースクエア Canopy Square	[Event]																				
07	DESIGNART TOKYO 2022	ギャラリー2F Aēsop 前, lucien pellat-finet 前 Galleria 2F, front of Aēsop / front of lucien pellat-finet	[Event]																				
08	PLAY SPACE. ソニーによる“宇宙の視点”体験空間	アトリウム Atrium	[Event]																				
09	DESIGN TOUCH Conference	ミッドタウン・タワー 4F カンファレンス Midtown Tower 4F Conference	[Event]																				
10	TOKYO MIDTOWN AWARD 2022 受賞作品発表・展示	プラザB1 メトロアベニュー Plaza B1, Metro Avenue	受賞作品発表10/13・受賞作品展示10/13-11/6																				
11	GOOD DESIGN EXHIBITION 2022	東京ミッドタウン・デザインハブ Tokyo Midtown Design Hub	10/7 - -11/6																				
12	GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA POPUP STORE	ギャラリーB1 Galleria B1	[Event]																				
13	TUB 第20回企画展「デザイン人類学宣言！」 TUB 20th Exhibition: Design Anthropology NOW!	多摩美術大学 TUB Tama Art University Bureau	[Event]																				
14	クリストとジャンヌ＝クロード “包まれた凱旋門” Christo and Jeanne-Claude “L'Arc de Triomphe, Wrapped”	021_21 DESIGN SIGHT	6/13 - 休憩 休憩 休憩 休憩 -2/12																				
15	美をつくりー大阪市立美術館コレクション Miwotsukushi: Beauty Galore —A Guide to the Osaka City Museum of Fine Arts Collection	サントリー美術館 Suntory Museum of Art	9/14 - 休憩 休憩 休憩 休憩 -11/13																				
16	人間写真機・須田一政 作品展「日本の風景・余白の街で」 The Camera on Two Legs Suda Issei: Landscapes of Japan, Margins of the City	FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館 FUJIFILM SQUARE Photo History Museum	9/29 - -12/28																				
17	とらや 第46回企画展「お米と和菓子」 Toraya 46th Exhibition: Rice and Wagashi	とらや Toraya	9/2 - -1/11																				

キービジュアルデザイナー

竹田美織
Miori Takeda

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、2011年より資生堂クリエイティブ本部に所属。2021年独立。ビューティー系ブランドをはじめ、ファッションやジュエリーブランドのアートディレクションなどを手がける。

今年は「環るデザイン」がテーマということで、人間にも自然にも等しく循環する水、そして水の脈をモチーフとしました。水も空気もすみずみに、淀みなく巡っていくことで、健やかに物事が営まれていく。そんな美しい循環がデザインによって育んでいけるのなら、これほど理想的なことはありません。

ミッドタウン・タワー 5Fに事務所を構える公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)。Tokyo Midtown DESIGN TOUCHのメインビジュアルは、JAGDA新人賞受賞者が制作しています。

Information

記載内容は予告なく変更になる可能性があります。最新の情報はWEBサイトからご確認ください。
<https://www.tokyo-midtown.com/>

東京ミッドタウン
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1

アクセス

- 都営大江戸線「六本木駅」
8番出口より直結
- 東京メトロ日比谷線「六本木駅」より
地下通路にて直結
- 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」
3番出口より徒歩約3分

お問い合わせ

東京ミッドタウン・コールセンター
03-3475-3100 [受付時間 11:00-20:00]



ECF 用紙を作る際に塩素ガスを使用しない、環境に配慮したECFパルプを使っています。